

# 防衛すべきは国民のいのちと暮らし

安保3文書改訂、沖縄をはじめ南西諸島で急激に進む軍備増強、麻生太郎氏の『戦う覚悟』発言等、戦争の危険性が増しています。

守るべきは平和と国民のいのちと暮らし。今すべきことは戦争準備ではなく、中国をはじめ東アジアの対話、協力、人的交流です。

沖縄県は独自の地域外交を展開。『沖縄を再び戦場にさせない県民の会』は11月23日に一万人規模の県民大会を計画しています。

「万国津梁(ばんこくしんりょう)＝世界の架け橋」の精神を受け継ぐ若い世代が、運動に「新しい風」を吹き込んでいます。大阪でもこの風に応えるため「映画と講演の集い」を開催します。



## 映画紹介



2024年劇場公開に向けて三上智恵監督のドキュメンタリー映画「沖繩、再び戦場へ(仮題)」の製作がスタートしました。その完成に先んじて、三上監督は「刻々変わっていく沖縄の、予断を許さない状況と危機感を全国のみなさんに今すぐ共有していただきたい」と、撮影した映像の一部から、45分ほどのスピノフ作品を製作しました。

### <三上監督からのメッセージ>

皆さんには観客として見るのではなく、私たちが必死に渡す情報を受け取って、皆さんも必死に地域に発信するサテライトになってほしい、平和を作る力のある人たちを掘り起こすツールにしてほしい。

## 講師紹介

南城市議会議員。「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」運営メンバー。南城市島ぐるみ会議事務局局長。沖縄を平和のハブとする東アジア対話交流プロジェクト実行委員。



瑞慶覧長風さん

1993年生まれ。30歳。沖縄県旧大里村銭又区出身。幼少期から空手、柔道をはじめ。東京農業大学卒業。2017年にプロキックボクサーに。父は元衆議院議員、前南城市長の瑞慶覧長敏さん、祖父は故瑞慶覧長方さん(元県議、元沖縄社会大衆党委員長)。お母さんは韓国、済州島出身。

## 場所:難波市民学習センター

大阪市浪速区湊町1丁目4-1 OCAT4階

